

## 伊藤 謙一 議員

### ふくろい 夜宵プロジェクト

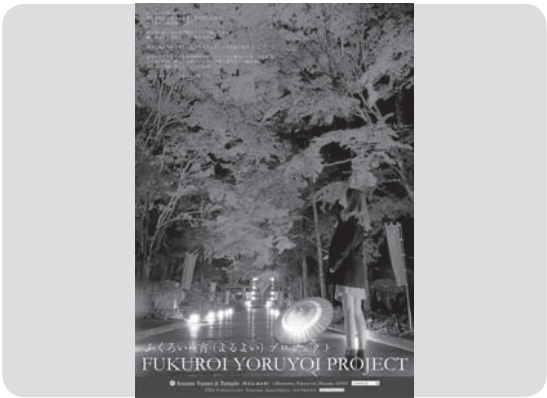
**問** 本市の夜のにぎわいづくりとしてスタートした本プロジェクトだがその概要を伺う。

**答** 具体的な事業内容として、1点目が遠州三山においてライトアップを行うことで、美しく演出された遠州三山の夜の景色をアピールし、夜の袋井へ行ってみたい、袋井の夜は面白いと感じていただきたい。2点目は、袋井駅から原野谷川まで、樹木空間プロデューサー監修のもと、樹木を活用した路地でのライトアップを行って、若者や女性が出かけてみたくなる袋井らしい夜の町を演出していきたい。3点目として、地域に密着したここならではの店などを紹介する冊子を作り、SNSの活用と組み合わせたゲーム性と、回遊性のあるスタンプラリーをライトアップ事業と同時に実施し、本市の新たなファンづくりにつなげていきます。

### 産前・産後のケア事業

**問** 女性の妊娠期、出産、出産後のステージごとのサポートが必要だと感じるが、本市の考えを伺う。

**答** ステージごとに各種事業を実施している。産後は、母親の身体的回復と心理的安定が重要となるので、来年度から、助産所でのデイサービスや病院等での宿泊による相談などの、産後ケア事業の実施を予定している。



ふくろい夜宵プロジェクトのポスター

## 田中 克周 議員

### 雑草から発電 この研究への協力を

**問** 稲わらや雑草など草本系植物から発生するメタンガスを燃焼させて発電する研究が、名城大学大場正春教授（市内方丈在住）によって進められている。既に市内のメロン農家でメタン発生の実験が行われ、さらに平成30年の豊田市での実証実験では、稲わらや雑草からの発電で、電気ストーブや電球が点灯し、テレビやパソコンの作動に成功した。水田の稲わらから発生するメタンの利用と、堤防の雑草を燃やさずに発電に活用するこのシステムは、地球温暖化対策の一環である。この研究への本市の協力をどのように考えるか。

**答** 現段階では、発電のための稲わら、刈り草等の調達や実証フィールドの調整等の協力が考えられるが、今後の見通しがつけば、市内での実用化について検討するなど可能な限りの協力をしていきたい。

### 「家族防災会議」のススメ

**問** 家族の絆を強め、家族・家庭から防災対策を進めるため、「家族防災会議の日」の制定を提案するがどうか。

**答** 家族防災会議は、家族の安否確認や避難場所確認をしておくことで、慌てずに行動することが目的である。定期的に各家庭で防災対策をチェックすることは、自助の基本であるので制定を検討したい。



発酵畝を施工した田んぼ